

ガラス製電波吸収パネル (ETC用)



《ガラス製電波吸収パネルのコンセプト》

安 全 性 自動車のフロントガラスや防犯ガラスと同構造

1) 構造的な安全性

自動車フロントガラスを凌ぐ衝撃強度を確保し、耐衝撃性試験をクリアした安全性の高い構造です

2) 視覚的な安全性

ガラスは平滑で表面硬度が高く耐擦傷性に優れる為、他の透明素材と比べ永く良好な視認性を維持出来ます

3) 不燃性

ガラス(無機材)と金属材の構成により、万一の火災時にも延焼することなく安全です

施 工 性 専門業者でなくとも施工可能

ガラス+金属フレームをユニット化したことと、簡易な納まりを考案したことで専門性をなくしました

耐 久 性 耐用年数は従来の2倍

1) 促進耐候性試験(S-WOM試験)

延べ5,000時間試験を行い、特に変化がありません

2) 冷熱サイクル試験

冷熱サイクル試験もクリアしています

3) メンテナンス

ガラスは、水洗い等一般的な清掃が可能です(防汚コーティングは別途ご相談ください)

電波吸収性能 耐久試験後、NEXCO仕様(旧JH仕様)クリアを確認

金属フレームを用いて安全性と施工性を確保し耐久試験後も、電波吸収性能仕様をクリアしています



株式会社 ジェイファスト



ガラス製電波吸収パネル
製品荷姿

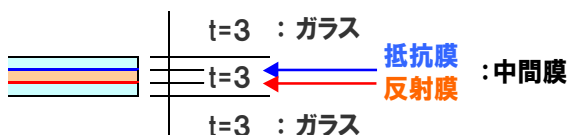


耐衝撃性試験結果

※遮音壁設計要領に基づく耐衝撃性試験

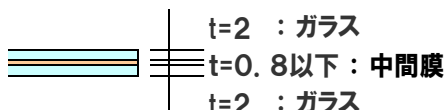
《ガラス製電波吸収パネルの構造》

■ ガラス製電波吸収パネル

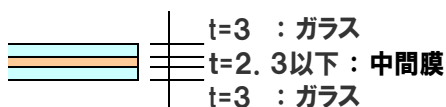


〔 参 考 比 較 〕

■ 自動車フロントガラス用※合わせガラス



■ 防犯合わせガラス(最高グレード)



・自動車業界で云う“安全ガラス”とは
合わせガラスです

・建築業界で云う“防犯ガラス”とは
合わせガラスです

これらの合わせガラスに対応すると
3mmの中間幕は**最高グレード**以上です

※合わせガラス

合わせガラスとは

2枚のガラスの間に柔軟で非常に強靱な中間膜を挟みこんだ**サンドイッチ構造のガラス**です
中間膜とは

耐候性が高く、紫外線に対しても安定し、普通の板ガラスと変わらない視認性を確保します

防犯ガラスとは

合わせガラスの一種で、中間膜により侵入は困難で防犯に効果的です

防犯ガラスのグレード(中間膜の厚み)とは

中間幕の厚みを増すほど強度が上がり、約0.8mm、約1.5mm、約2.3mmの3種類が一般的です
一般住宅は約0.8mm～約1.5mmの物を、店舗用は約2.3mmのものが推奨されています

破損時には

万一のガラスの破損でも中間幕の効果で破片が飛び散ることはほとんどなく、簡単には崩れ落ちず**衝撃物が貫通しにくい**ため自動車のフロントガラス等、安全性を必要とする部位に多く使用されています

カタログ記載内容
2016年10月現在

製造元



松陽産業株式会社
Perforated Material Solutions®

本社

〒541-0053 大阪市中央区本町2-1-6
堺筋本町センタービル16階
TEL 06-6262-7000 FAX 06-6262-7002

お問い合わせ先



株式会社 ジエイファスト

大阪支店

〒542-0081 大阪市中央区南船場1-14-10
TEL 06-6264-7766 FAX 06-6264-7776